

京都府漁海況情報

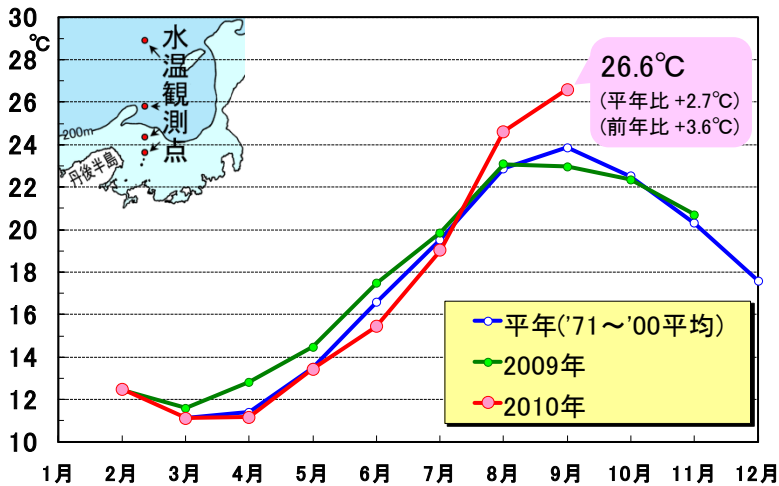
京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

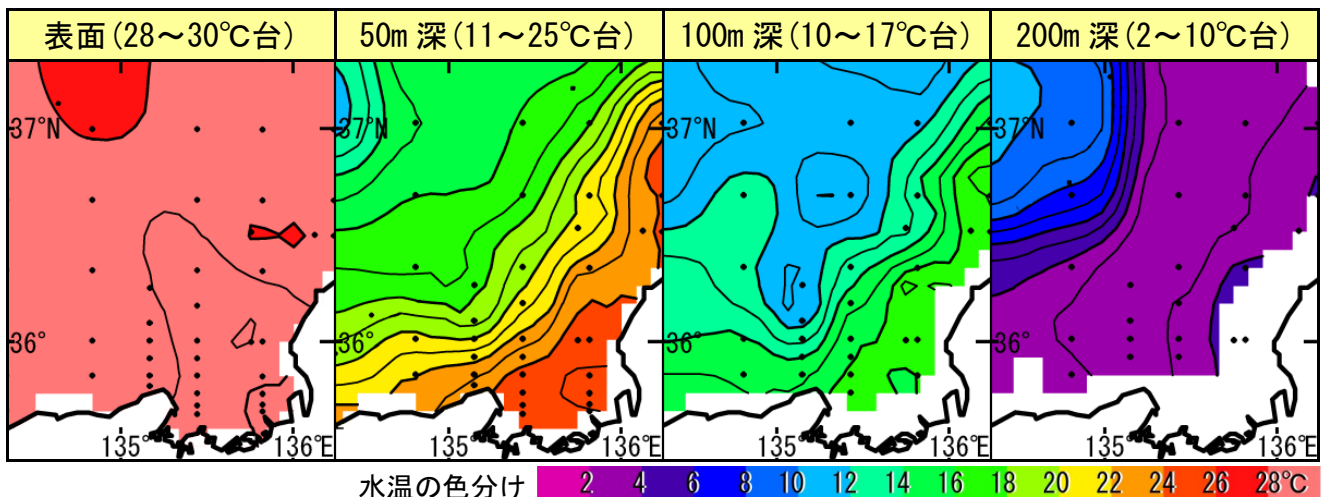
9月上旬における京都府周辺の表層水温は、平年および前年よりもかなり高めで推移していました。また、沖合からの冷水域はやや張り出し気味でした。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2010年9月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：(独)日本海区水産研究所, 気象庁, 九州大学応用力学研究所

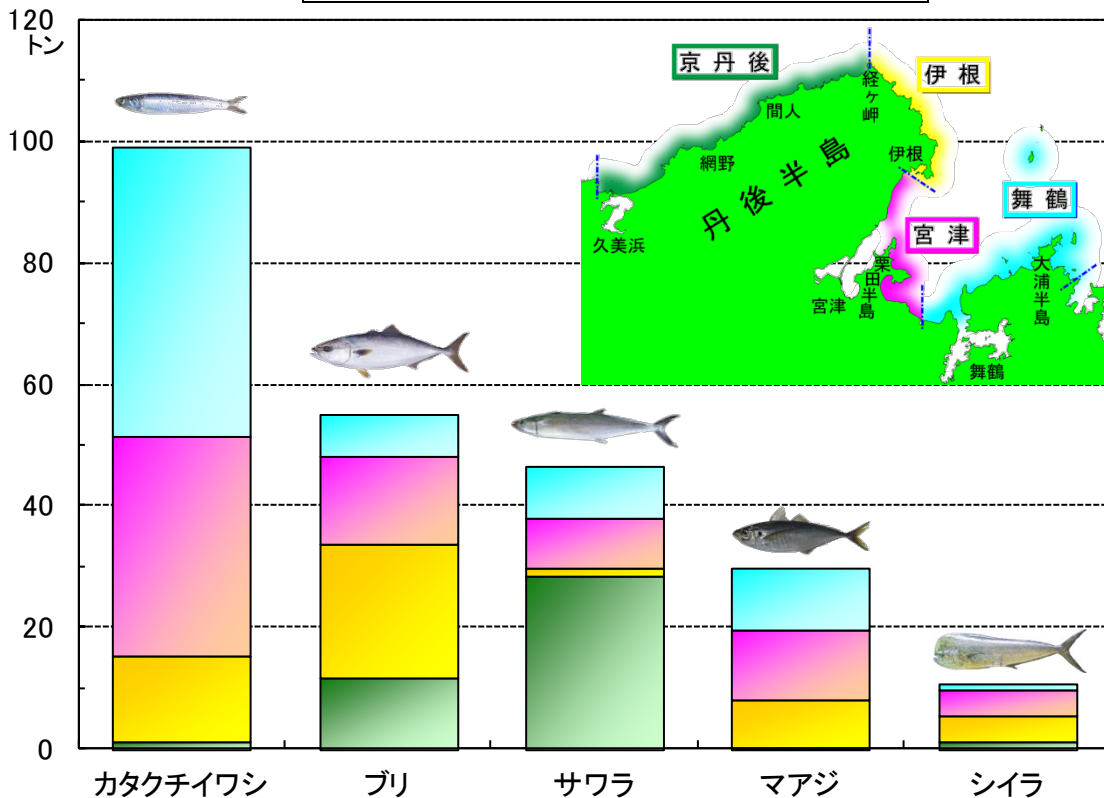
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め」で推移する見込み

漁模様 ～2010年8月～

【定置網漁業】

全般に少漁で、平年および前年の8月と比べて低調な水揚げとなりました。

2010年8月の地域別漁獲量(上位5魚種)



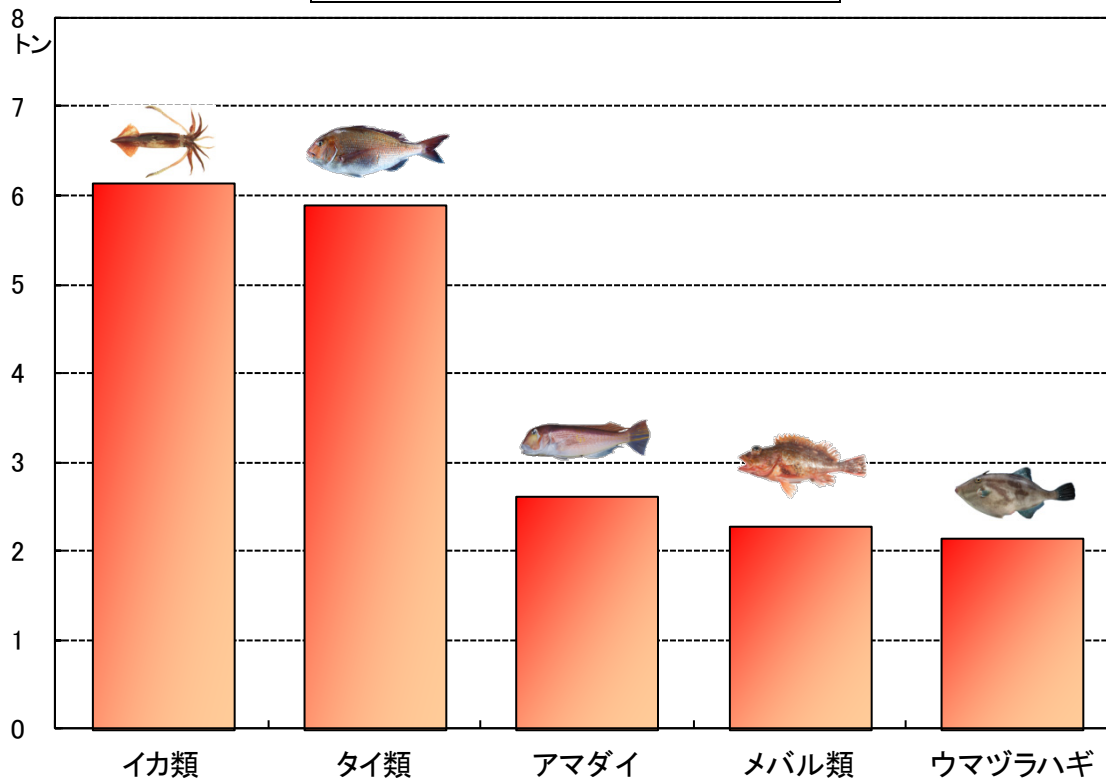
8月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	99.0	153.9 (64%)	304.9 (32%)	<カタクチイワシ>
ブリ	55.0	119.6 (46%)	178.3 (31%)	体長4～6cmが主体でした。
サワラ	46.6	109.0 (43%)	70.5 (66%)	<ブリ>
マアジ	29.9	99.6 (30%)	112.6 (27%)	はまち銘柄(尾さ長42～51cm主体)が約6割、つばす銘柄(尾さ長20～34cm主体)が約4割でした。
シイラ	10.7	2.8 (381%)	17.9 (60%)	<サワラ>
スズキ	7.4	9.0 (82%)	5.5 (135%)	尾さ長50～65cmが主体でした。
カジキ類	6.9	2.4 (293%)	5.1 (134%)	<イカ類>
ウマヅラハギ(長はぎ)	6.1	2.7 (226%)	1.8 (345%)	ケンサキイカ(白いか)が4.7トン、アオリイカ(秋いか)が0.6トンなどでした。
イカ類	5.3	5.3 (101%)	11.9 (44%)	
タイ類	4.8	3.9 (120%)	5.1 (93%)	
その他	38.4	61.1 (63%)	113.0 (34%)	
合計	310.1	569.3 (54%)	826.7 (38%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

全体では前年の8月をやや上回り、平年並みの水揚げでした。

2010年8月の漁獲量(上位5魚種)



8月漁獲量(トン) 京都府漁連集計					
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考	
イカ類	6.2	4.2 (146%)	7.7 (79%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が 6.1トン, スルメイカが0.1ト ンでした。	
タイ類	5.9	4.4 (135%)	4.0 (148%)		
アマダイ(ぐじ)	2.6	2.6 (102%)	2.7 (98%)		
メバル類(もいお)	2.3	1.9 (122%)	1.7 (135%)		
ウマヅラハギ	2.2	2.1 (102%)	2.4 (90%)		
サワラ	0.6	1.0 (58%)	0.6 (94%)		
アジ類	0.4	0.7 (57%)	0.5 (80%)		
ブリ	0.3	0.8 (37%)	0.6 (46%)		
カレイ類	0.2	0.1 (222%)	0.4 (50%)		
スズキ	0.1	0.1 —	0.1 —		
その他	1.9	1.8 (104%)	2.6 (74%)		
合計	22.6	19.7 (115%)	23.4 (97%)		

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

資源保護のため、6月1日から8月31日まで休漁です。

【トピック ～クロマグロの幼魚～】

8月末頃からクロマグロの幼魚が府内各地の定置網で確認されています。

0歳魚については、晩秋に体長30cm前後に成長した群れが定置網に入ることにはありますが、写真のような体長10cm程の幼魚が夏季に度々みられるのは珍しいようです。

今年から水産庁が中心となって謎の多い日本海でのクロマグロの産卵実態を調べており、今後の研究の進展が期待されます。



尾さ長 97mm のクロマグロ幼魚 (2010年9月10日採取)。